

## 〈 派 遣 報 告 書 〉

2026/2/20

報告者 石谷 祐貴

1. 大会名 令和7年第56回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

2. 期 日 令和8年2月13日(金)～11月15日(日)

会 場 菊陽町総合体育館・合志市総合センターヴィーブル・熊本県立第二高等学校  
体育館・熊本県立大津高等学校体育館

3. 担当試合

【14日】男子Aパート1回戦

(沖縄2)－(宮崎1)U2

(沖縄1)－(福岡2)U2

【15日】男子Bパート準決勝

(熊本3)－(長崎3)CC

4. ゲーム

PGCは基本的なメカ(エッジの見方・ヘルプディフェンダーについて)・クルーワークを重点的に行い、選手の特徴・コーチの特徴をクルーで共有しました。

男子Aパート1回戦：2ゲームともスピーディーな展開で見応えあるゲームでした。その中でTOとのコミュニケーション不足であったり、クルーで集まるケースが多々あり、間延びしてしまった場面がありました。その部分をもっと簡潔にスムーズに運営できればと反省しました。

男子Bパート準決勝：両チームとも序盤は留学生を中心にバスケットを展開していましたが、長崎が日本人のみの時間を長く起用していました。その時間帯の留学生への守り方へのアンテナがまだまだでイリーガルなことをさせ続けてしまい留学生のインテンシティが上がってしまうケースがありました。そこへの早めの笛だったり、声掛けができればもっとクリーンにバスケットが展開できたのではないかと思います。

5. 全体を通して

まず、今回派遣して頂いた鹿児島県バスケットボール協会をはじめ、原田審判長並び、各カテゴリー長の方々には深くお礼申し上げます。

今回、多くのゲームを担当させていただきました。その中でベーシックなメカを意識して

臨みました。うまくいくケースもある中で、悩んでしまいクルーに迷惑かけた部分や判定に繋がらなかった部分が多々ありました。なにを捉えるためにローテーションするのかなど工夫が必要と感じました。今後に活かしていきたいと思います。以上、報告とさせていただきます。